

これで勝負！

大消費地にいどむ
首都圏農業

124

北本市 ベジファーム北本

【埼玉】北本市の内田 店、飲食店などに出荷し
泰宏さん(56)は「多く ている。法人化後は毎年
の人に北本の野菜を知っ 経営面積を約1畝ずつ拡
てもらいたい」という思 大しており、地域の遊休
いから、2019年に法 農地解消にも積極的に取
人化。(株)ベジファーム北 里組んでいる。

本を立ち上げた。従業員 生産する野菜やニンジ
は現在15人。 ンジュースなどの加工品
同社はキャベツ、レタ のパッケージには自社ブ
ス、ブロッコリー、ニン ランド「旬の菜(商標
ジン、トマト、亀戸大根 登録)」のロゴマークを
など約24畝の大規模経営 印字しており、イベント
を行っており、首都圏の などPRしている。
スーパーやJA、小売 さらに、青ナスを「中

地元野菜 ブランド化



山道ナス」、亀戸大根を(録)」と命名。市と協力
「お多福来大根(商標登 しながら地元野菜のブラ

ベジファーム北本の従業
員と内田さん(右から3
人目)

ンド化をめざし、農業振
興にも取り組む。

また、独立就農を希望
する従業員には、栽培技
術だけでなく取引先との
やり取りなども細かく指
導し、担い手の育成にも
力を入れているという。
現在までに3人が独立就
農した。

内田さんは今後につい
て、「有機農業への挑
戦、研修生の受け入れ、
販路のさらなる拡大など
多くのことに挑戦してい
きたい」と話す。

ベジファーム北本ホー
ムページ＝<http://uchida-nouen.com/>